

製品名: CUL-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09533**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	CUL3
別名	CUL3; KIAA0617; Cullin-3; CUL-3
遺伝子 ID	8452.0
SwissProt ID	Q13618
免疫原	抗血清はヒト Cullin 3 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 1-50

背景

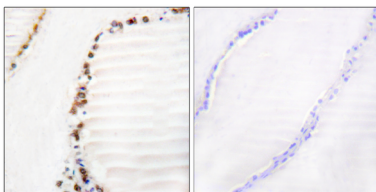
この遺伝子は、Cullin タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、E3 ユビキチンリガーゼ複合体のコア成分および足場タンパク質として、特定のタンパク質基質のポリユビキチン化とそれに続く分解において重要な役割

を果たしています。コードされているタンパク質を含む複合体は、後期エンドソーム成熟にも関与している可能性があります。この遺伝子の変異は、2E型偽性低アルドステロン症の原因となります。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq提供、2012年3月]機能: 標的タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介する、複数の Cullin-RING ベース BCR (BTB-CUL3-RBX1) E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ複合体のコア成分。足場タンパク質として、基質およびユビキチン結合酵素の配置を介して触媒に寄与する可能性があります。複合体の E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ活性は、カリンサブユニットのネジル化に依存しており、ネジル化されていないカリンサブユニットと TIP120A/CAND1 との会合によって阻害されます (類似性による)。BCR 複合体の機能特異性は、基質認識成分としての BTB ドメイン含有タンパク質に依存します。BCR(SPOP)は、BMI1/PCGF4、H2AFY、DAXX、およびおそらく GLI2 または GLI3 のユビキチン化に関与しています。BCR(KLHL9-KLHL13)は、有糸分裂染色体上の AURKB の動的挙動を制御し、それによって忠実な有糸分裂の進行と細胞質分裂の完了を調整します。サイクリン E およびサイクリン D1 (in vitro) のユビキチン化に関与し、したがって G1/S 遷移の調節に関与しています。、pathway:タンパク質修飾;タンパク質ユビキチン化。、PTM: Neddy 化。BCR 複合体の E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ活性には NEDD8 の結合が必要である。COP9 シグナロソーム (CSN) 複合体との相互作用により脱 Neddy 化される。、類似性: Cullin ファミリーに属する。、サブユニット: Neddy 化依存性ホモ二量体を形成する。CUL3、RBX1、および Cullin へのアダプターと基質認識サブユニットの両方として機能する可変 BTB ドメイン含有タンパク質から形成される複数の BCR (BTB-CUL3-RBX1) E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ複合体の構成要素。BCR 複合体はヘテロ二量体複合体として活性を示す場合があり、その場合、1 つの CUL3 分子に共有結合した NEDD8 は、2 つ目の CUL3 分子の C 末端に結合する。RBX1、RNF7、CYC E、TIP120A/CAND1 と相互作用します。SPOP を含む BCR(SPOP)の一部です。BTB ドメインタンパク質 KLHL9 および KLHL13 を含む BCR(KLHL9-KLHL13)複合体の一部です。KBTBD10 を含む BCR(KBTBD10)複合体の一部です。ENC1 を含む BCR(ENC1)複合体の一部です。BMI1/PCGF4、CUL3、SPOP からなる複合体の一部です。H2AFY、CUL3、SPOP からなる複合体の一部です。KLHL9、KLHL13、GAN、ZBTB16、KLHL21、KLHL3、KLHL15、KLHL20、C16orf44、GMCL1L、BTBD1 と相互作用します。CUL3、RBX1、GAN を含む複合体の一部。、組織特異性:広く発現している。、

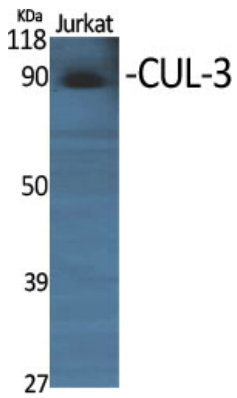
研究分野

ユビキチンを介したタンパク質分解;

画像データ



Cullin 3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト甲状腺組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CUL-3 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。